

## ひさき衛星の観測1年間のまとめ、今後 Summary of Hisaki observation during one-year and the next

吉川 一朗<sup>1\*</sup>; EXCEED Mission team<sup>2</sup>  
YOSHIKAWA, Ichiro<sup>1\*</sup>; EXCEED, Mission team<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 東京大学, <sup>2</sup>EXCEED Mission team  
<sup>1</sup>University of Tokyo, <sup>2</sup>EXCEED Mission team

EUV分光器 (EXCEED) を搭載したスプリント衛星 A (ひさき) はイプシロンロケットで2013年9月に打ち上げられ、観測を開始しました。現在も、地球の周回 (954.05km × 1156.87km、周期104分) を飛翔しています。この1年間に太陽系惑星の水星、金星、(地球)、火星、木星と土星を一通り、観測した。EUV波長域に1cm<sup>2</sup>以上の有効面積を持ち、520-1480Åの波長範囲でよく較正されています。

この測器を用いて、木星を約3ヶ月間にわたり連続的に観測した。

その結果、イオプラズマトーラスとオーロラの双方に起こる突発的な増光のイベントから高エネルギー粒子の内部磁気圏への流入を確認した。

また金星の観測からは、一酸化炭素の Fourth Positive バンドと窒素分子の輝線をはじめて同定することができた。水星、火星、土星も含め、1年間の観察の概要を紹介します。

キーワード: ひさき, 極端紫外光, 惑星大気光, 太陽系惑星  
Keywords: Hisaki, EUV, Planetary airglow, Solar planets